

ステップアップ 畜産!



西部農業事務所家畜保健衛生課（西部家畜保健衛生所）
〒370-0074 高崎市下小島町 233
TEL 027-362-2261、FAX 027-362-2260



～記事～

- ★兵庫県の養豚場にて豚熱発生(国内 87 例目)
- ★野生イノシシの豚熱検査実施状況
- ★海外でのアフリカ豚熱、口蹄疫の発生状況
- ★登録飼養衛生管理者の豚熱ワクチン接種について
- ★暑熱対策をお願いします
- ★豪雨による堆肥や汚水の流出に注意しましょう
- ★畜産GAP研修会のお知らせ

～添付資料～

- ★JGAP(畜産)について

★兵庫県の養豚場にて豚熱発生(国内 87 例目)

令和 5年 7月 22日に兵庫県南あわじ市の豚飼養農場で豚熱の発生がありました。養豚場における発生は今年 3月の茨城県における発生以来 4か月ぶりの発生です。淡路島では令和 3年 7月に初めて野生イノシシでの豚熱感染が確認されてから、以降散発的に野生イノシシでの感染がみられている状況でした。

このように、発生農場の付近では野生イノシシ感染事例が確認されており、群馬県でも、7月に太田市での野生イノシシの感染が確認されているため、農場周囲の山林ではウイルスを保有している野生イノシシや体表にウイルスを付着させた野生動物が存在していると考えられます。自身の農場への侵入リスクを下げするため、野生動物対策、長靴・衣類の交換・消毒等のウイルス侵入防止対策の徹底を引き続きお願いいたします。

★野生イノシシの豚熱検査実施状況（R5.4.1～R5.7.25検査）

＜西部管内での結果＞

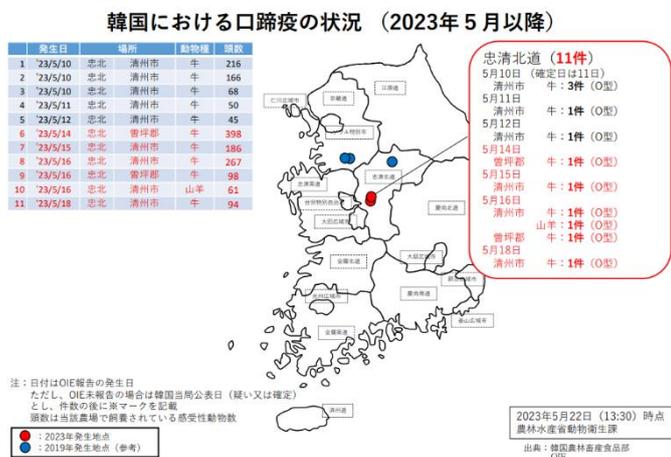
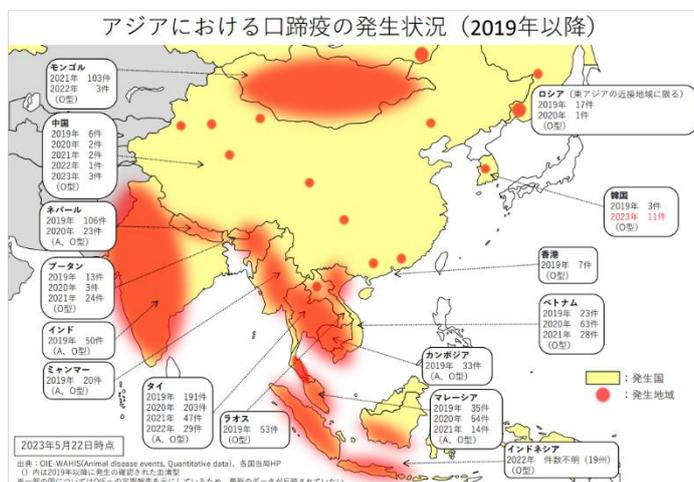
市町村	高崎	富岡	安中	甘楽	下仁田	神流	南牧	上野	合計
検査数	57	2	30	0	0	0	2	0	91
陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＜県内の他地域での結果＞

地域	中部	吾妻	利根沼田	東部	合計
検査数	49	59	20	60	188
陽性数	0	0	0	1	1

渡航は自粛をお願いします。同時に技能実習生など海外から農場従事者を受け入れている農場については、帰国時、入国時の携帯品の消毒や畜産物の持ち込み禁止のルールの再確認をお願いします。

また、すべての病原体に共通して、適切な洗浄消毒・更衣や機材の交換など飼養衛生管理の徹底することで、感染リスクを少しでも下げようお願いします。



★登録飼養衛生管理者の豚熱ワクチン接種について

群馬県では 4 月より認定農場における飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種制度が開始されました。管内でも、いくつかの農場が認定農場となり獣医師の管理のもと飼養衛生管理者接種を実施を開始しました。飼養衛生管理者によるワクチン接種は、より適切な時期でのワクチン接種が可能となります。

認定農場となるためには、豚熱発生予防のための防疫体制がしっかり整備されている、もしくは整備するにあたっての対応策の明示などの基準があります。特に、重点ポイントであるウイルスの侵入防止対策(野生動物対策、各豚舎専用長靴・更衣の着用等)についての項目は対応策必須となります。また、基準をクリアした農場は、飼養衛生管理者の登録のための研修会に参加していただき、登録後管理獣医師による月一回以上の診療のもと随時接種が可能となります。

新たな制度のため、申請は随時受付し、研修会の案内は、認定農場にのみ通知させていただきます。

なお、制度について不明な点がございましたら、家保までお問い合わせ下さい。

手続きのための様式は群馬県 HP からダウンロードできますので、ご活用下さい。

群馬県 HP (畜産課)「豚熱対策について」のページの「県内における豚熱ワクチン接種について」の項目をご覧ください。

◆ <https://www.pref.gunma.jp/page/187305.html>

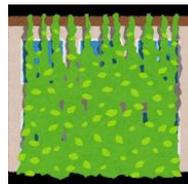
◆ 「群馬県 豚熱対策」で検索



★暑熱対策をお願いします

今年の夏は平年より気温が高いと予報されており、残暑も厳しい暑さが続く予想されています。この後も暑熱対策の継続をしましょう！

1. 日よけ（寒冷紗、よしず、つる性植物等）を設置する。
2. 畜舎内や屋根への散水、屋根へ石灰乳を塗布する。
3. 換気扇や送風ダクトによる送風を行う。
4. 密飼いにしない。
5. 消化のよい良質飼料を給与し、涼しい夜間に食べさせる工夫をする。重曹やミネラル、ビタミンを適切に給与する。
6. 新鮮な水を十分に飲水できるようにする。
7. 家畜に異常がないかよく観察する。



★豪雨による堆肥や汚水の流出に注意しましょう

この時期は、雷雨等による集中豪雨が多発します。近年では、これまでにはみられなかった量の雨が短時間に降ることで、全国各地で甚大な被害が発生しています。このような雨水が堆肥処理施設や污水处理施設に流れ込んだ場合には、周辺の道路や田畑へ家畜ふんや尿汚水等が流出する可能性が十分に考えられます。

流出を未然に防ぐためには、最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックし、事前に施設を点検し、必要に応じて補修するとともに、浸水のリスクを考慮して、防水・排水対策をお願いします。実際に被害が発生してからの復旧にかかる時間や労力は、被害防止のためのそれに比べ、甚大です。

★畜産GAP研修会のお知らせ

日時：令和5年8月31日(木) 14:00～16:30

場所：ぐんま男女共同参画センター 大研修室

前橋市大手町1-13-12(群馬県庁の裏)

内容：畜産経営における農作業安全について

家畜改良センター奥羽牧場(肉牛)での取組事例等

問い合わせ先：群馬県畜産課畜産振興係

TEL：027-226-3106



西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小鳥町233

TEL 027-362-2261(緊急時 24時間対応) FAX 027-362-2260

★ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。